



かいせつ

コミュニケーションアプリのトラブル

B

どうなる？

スマートフォンやタブレットが^{ひろ}広まり、SNS やチャットアプリを使^{つか}って、
たくさん^{ひと}の人とやり取りができるようになりました。とても便利^{べんり}ですが、気^きを
つけないとトラブルにつながることもあります。



① 言葉^{ことば}のトラブル

- ・オンラインでは、相手^{あいて}の顔^{かお}が見え^みません。そのため、つい強^{つよ}い言^いい方^{かた}をしてしまったり、いやな言葉^{ことば}を書^かいてしまったりすることがあります。また、いやな言葉^{ことば}を書^かきこまれることもあります。

② 仲間外^{なかまはず}れや画面^{がめん}の拡散^{かくさん}の問題^{もんだい}

- ・言葉^{ことば}だけでなく、チャットのグループで仲間外^{なかまはず}れにしたり、やり取りの画面^{がめん}をスクリーンショットで保存^{ほぞん}して広^{ひろ}めてしまったりすることも、トラブルの原因^{げんいん}になります。

● 小^{ちい}さなことが大^{おお}きな問題^{もんだい}に

このようなことがきっかけで、いじめに^{はってん}発展^{はつてん}したり、つらい気持^{きもち}ちにな^なって学校^{がっこう}に^こ来^こられ
なくな^なったりするなど、深刻^{しんこく}な問題^{もんだい}につながることもあります。

どうする？

① 「いやだな」と感じる^{かん}ことは、人^{ひと}によってちがう^{いしき}ことを意識^{いしき}しよう

- ・「自分^{じぶん}がされていやなことは、相手^{あいて}にもしない」という考^{かんが}え方^{かた}はとても大^{たいせつ}切^{せつ}です。
でも、人^{ひと}によって、言^いわれていやな言葉^{ことば}や、され^{こま}て困^{こま}ることはちがいます。SNS で言葉^{ことば}を
書^かいたり、何^{なに}か行^{こうどう}動^{どう}したりする前^{まえ}に、「これをされたら、相手^{あいて}はどんな気持^{きもち}ちになるかな？」
と、一^{いち}度^ど立^たち止^とま^とって考^{かんが}えることが大^{たいせつ}切^{せつ}です。

② 困^{こま}ったときの相^{そうだん}談^{だん}のしかた^{かんが}を考^{かんが}えておこ^こう

- ・SNS でのやり取りでは、だれでも困^{こま}ってしまうことがあります。そんなときにそなえて、相^{そうだん}談^{だん}のしかた^{かんが}を前^{まえ}もっ
て考^{かんが}えておきま^ましょう。例^{たと}えば、次^{つぎ}のよう^{かんが}なことについて考^{かんが}えておくことが大^{たいせつ}切^{せつ}です。
「どんなときに相^{そうだん}談^{だん}するの^か」「だれに相^{そうだん}談^{だん}するの^か」「どうやっ^{そうだん}て相^{そうだん}談^{だん}するの^か」
- ・また、おうち^{ひと}の人^{ひと}に相^{そうだん}談^{だん}しやす^{つか}くするために、ふだん使^{つか}っている SNS やアプリについて、伝^{つた}えておくこと
も大^{たいせつ}切^{せつ}です。



考えてみよう

つか かた (使い方やルールを) かんが (考えてみよう)



- メッセージを書くときは

(_____) に気をつける

例：相手はどう感じるか

- グループでのやり取りは

(_____) に気をつける

例：グループ以外の人が見るかもしれないこと

- こまったことがあったら

(_____) に相談する

例：おうちの人



保護者の方へ



【家庭で気をつけたいこと】

SNS やチャットアプリによるトラブルは、周囲の大人が気づきにくく、対応が遅れてしまうことがあります。こうした事態を防ぐためには、

- ①子供が利用している SNS やアプリを把握しておくこと、
- ②日頃から相談しやすいコミュニケーションを心がけること、
- ③子供の様子の変化に目を向けること

が重要です。

特に、「学校の話をしたがらなくなった」「スマートフォンを家族の见えないところで使うようになった」などの変化は、SNS やチャットアプリでのトラブルが背景にある場合もあります。こうした様子が見られた際には、注意深く関わるのが大切です。また、子供が相談してきたときには、まず相談してくれたことを受け止め、話を聞く姿勢を大切にしましょう。

【ルールの決め方】

SNS やチャットアプリの利用に関するルールを決める際には、「家族の見える場所で使う」「困ったことがあればすぐに相談する」といった内容を含めておくといよいでしょう。また、**トラブルが起きた場合には、子供の許可を得た上でやり取りの内容を確認すること**も、早期対応につながります。家庭で話し合い、納得した上でルールを決めておくのが大切です。